

荒川化学「環境・社会報告書2021」のアンケート結果

「環境・社会報告書2021」に貼付しましたアンケートに対し、23名(グループ従業員を除く)の方々から回答をいただきました。ご協力いただいたの方々に対して厚くお礼を申し上げますとともに、その内容をご紹介します。

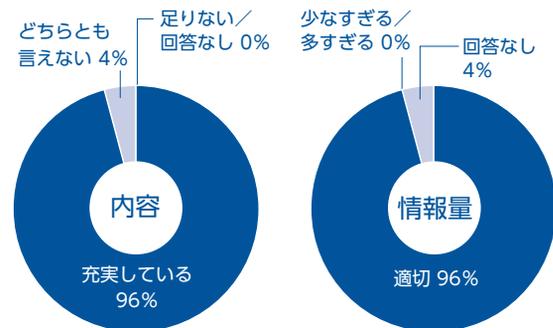
■環境・社会報告書全体への感想

- コロナ禍での海外工場の動向がおもしろかったです。海外の工場の特色も豊かで世界規模の会社ということがたのしく感じられました。
- 内容が充実しており、荒川化学らしさがよくわかるすばらしい報告書と思った。内容は誠実、ていねい、詳細に記述されているが、強調したいところは一覧で単純明快にわかるとよいと思った。
- 安全と環境、地域貢献を重視した誠実な経営方針がうかがえます。担当者や現場の声が盛り込まれていて、大変良いと思います。一方で、やや文章量が多いため読むのがしんどい印象をうける誌面構成です。余白や文字の大きさを工夫すると、動きのある誌面になると思います。
- 社員さんの声が多く現場の雰囲気、CSRの熱を感じました。
- 項目別にカラーイメージがわかれており見やすい。
- 図やグラフ等を使ってきれいにまとめられており良かったです。
- 今回は内容がとても充実され、全体的に書いてある内容の意図がわかりやすくなったと思います。

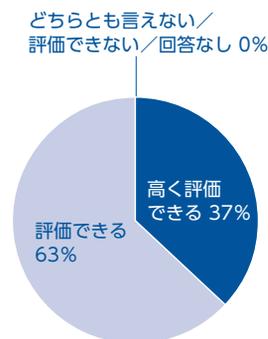
■特集への感想

- 特集では新規事業創出で何か具体的に種があるとよいと思った。未来像では例えばまつたけの人工栽培、生物化学、生命化学の方向を期待します。特集において活動の成果が期待できる。
- KIZUNA指標は5つのKIZUNAとリンクした課題や目標が具体的にわかりやすく記載してあり良かった。
- 今回の中計においてどのような目標で進めていくかKIZUNA指標が導入されたことでとても明確に理解することができた。
- かがやく分科会はなかなか面白い活動です。社員から女性役員が誕生することを期待しています。「見えなくても側にいます」のキャッチコピー、良かった。
- かがやく分科会活動が今までにない分類の特集という印象あり。とても良いと思う。
- 女性ならではの視点による展開が期待される。(医療やコスメなんて面白い)

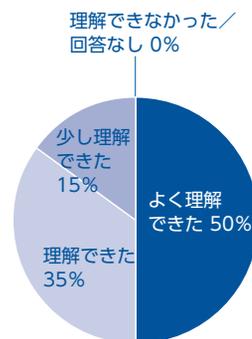
■環境・社会報告書全般について



■環境側面および社会的側面



■特集について



■参考になった、興味を持たれた項目について(複数回答)

